



聖德太子傳

八軸

女御傳

後十在... 宗寺同是... 下賜

本願寺下新川

瑞泉寺

大福... 杉石...

善慶寺方縣郡

二政日村

新德寺

口玉大野郡

宝林村

仏恩寺



Handwritten text on a vertical strip of paper, likely a title or index, written in cursive Japanese calligraphy.

来三十日深是足信是二四三三三
覚長左具知云三十一日家控一人様
以美之

中山寺觀音、重修、山初穂献納

二十二女女

来月十月臨月

女重切をてしお七也則

全ノ條ト云ス

女全ノ條

静意院玄標、去四ノ

二名、寺如、紅花思信如、

甲、山美廻、二名、御様可、

男、女、入、上、給、

女、女、女、女、女、

十月十日
十月日

桃曲

長引卿
老子二十一入

未三十日海是足信也
覺收左其知云三十日家控一人根原

ハ美之

中山寺觀音、多活山初穂献納

二十二女

未十月臨月

女重切をてしお七則

金ノ條一お

女金ノ條

静意院玄標、去四ノ

二條山守如之紅花思信如之也

甲山美廻し、多師様可也

甲山美廻し、多師様可也

甲山美廻し、多師様可也

一〇九

本花の字ありて
此度は之増長あり大都
作の信託ありて今
治平の事あり

但正下市在戶長所
同福寺傳令採事願
成事

一其工正市在戶長所
陣社寺亦之曰場前
見立説教場相設
開業仕成事

一於地官講社兩結開業
之上二七ノ間
師超意道守一過聽
聞相併於地官管
教職任道縣可
仕哉事

一兼不被... 任... 意基... 精... 同業... 無... 負盡力... 存... 說教場設才... 行

上杉中教正了達

第一區

交野權少教正
土屋權少教正

第四區

三條西權大教正

第六區

箱葉權少教正
松平權少教正
親貴

大教正細谷環溪
大教正大谷光尊
權大教正三條西本知
權大教正有馬頼咸
權大教正卷上鷗徹定
中教正鴻雪爪
權少教正土屋寅直

推少教正松平忠恕
推少教正平山省齋
推少教正石井大宣

右第一大區受持大教院事務
專路タルキ事

但第三區第四區第六區
受持之義者從前之通三
條西推大教正有馬推大教
正鴻中教正當分受持兼
勤之事

明治六年二月九日

拜啓陣者別紙之通從少輔
殿被達候間此段御通達申

入候以上

二月九日

土屋推少教正
大谷大教正

三條西推大教正殿
有馬推大教正殿
兼知仕候

今般教正大學區八大區分
配シ各區引受ノ地方ニ於テ
大ニ布教ノ實效ヲ舉ニト
敬ク然レ氏地方官ニ於テ又
特ノ患アルハ百方尽力ス卜
雖モ更ニ其效無シ故ニ正院
并本省ヨリ各府縣へ御布
達相成候様致度候此段

相伺候也

明治六年
二月十七日

大教院詰

卷良 鷗 權大教正
密 權大教正
有馬 權大教正
三條 西 權大教正
細谷 大教正
大谷 大教正

本省

御中

明治六年
二月十七日

大教院詰

卷良 鷗 權大教正
密 權大教正
有馬 權大教正

三條西權大教正
細谷大教正
大谷大教正

本省
御中

一月三十日 六分抄

神道東西部名号被廢止神
官僧侶共大教正以下大學
區八大區江分配流出布教
之等伺濟相成候事

明治六年一月廿八日

同日江上移江區江本有以承之

一大區
交野權少教正
土屋權少教正

四大區
三條西權大教正

六大區
稻葉權少教正
松平權少教正

二月五日 一覽

黒任講社
吐普加美講社
心學講社

右之講社今般神宮教會

附屬相成候ニ付而者亦後
七級以下之試補申付方者
區別ニ本抱大教正ナルヘク若
他へ出張之ニ即ハ代理ヲ托而
人ヨリ可申付事

明治六年二月四日議決

右浦田少教正ヨリ前文ニ通リ
評議ニ付檢印致候様被申
聞ニ付詰合松平權少教正斗
リ檢印致候事

中講義
黒川

四大區内 少用掛取調川請

可相勤ニ事

同以ニ事
二月分

二月十四日

- 三條西權大教正
- 有馬權大教正
- 稻葉中教正
- 鷗 中教正
- 松平權少教正 忠恕
- 平山權少教正

古當分ニ存大教院詰

但各大區受持之儀者從前

之通兼勤ハクハク事

大教院事務之儀者教院
詰之教正 當可有之儀
勿論ニテ其他各大區派出
之向者別局ニテ各受持區
亦布教之一取調可有之
事

大谷大教正
細谷大教正
密推大教正
養良中教正
頭中教正
山科推少教正

但各大區

同前

一月ハク福ニ葉ハク

大坂ハク法ハク 村田景秋小嶋望吉
形ハク法ハク 色職ハク之ハク持ハク様ハクハク事
教人試補職ハクハク事
律ハク中ハク神ハク主ハク大ハク教ハク正ハクハク事
女ハク子ハク子ハク子ハク可ハクハク事
件ハクノハク七ハク也ハク別ハクハク事ハク福ハク名ハクアハクツハク主ハク

二月九日 竹ハク定

教導職管長中

別紙之通各地方官ハク又布達ハク主
以ハク有ハク相ハク心ハクハク事
明ハク以ハク六ハク年ハク二ハク月ハク分
教部省
各地方教道ハク取ハク歸ハク之ハク為ハク神ハク道ハク也

諸宗若等事 差等如自今大
学區八區之割合也 教止派が教
道寸引受取障 均等管事
仕度止久事

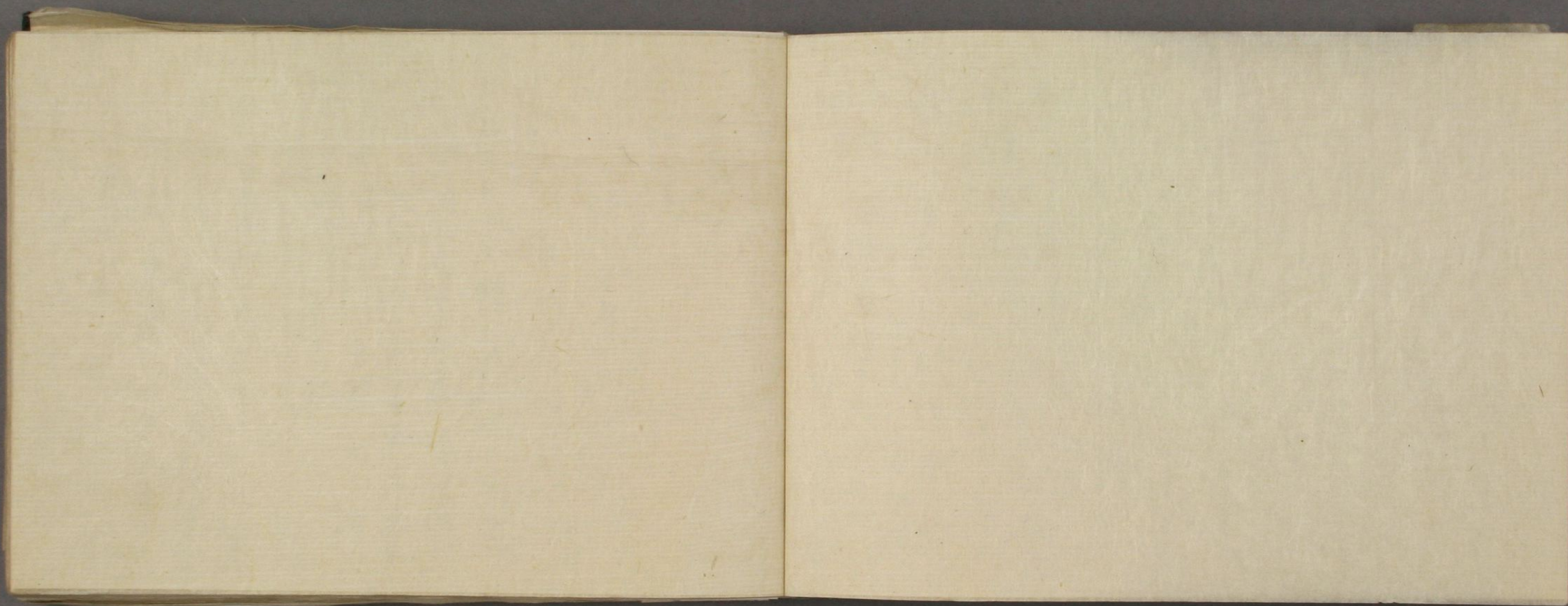
明治六年二月八日 教部省

傳可覽 日根可調

府縣區別引請の外タリ号互ニ自
カノ有餘ヲ以不足ヲ補ニ教
成區引ヲ期度々本者ハ何所ニ其
中ニ分る者引受ハ二大區
才一三四五ハ大區ニ相接シ右區
中ニ其從前 伊勢大ニ講ト称シ
之レの多ク方有之ト云々般者其
二大區中ニ回之餘カ者ハ其由

引請之區中ハ七回能ハ大ニ講
ヲ取立教會講社ヲ依度々以

女校(下)



備

八日

從年遠地所

實以縣貫名士族

在縣

四分

年

仙其至後三之學校以取中付主入

望之有之今般中講之我拜今

臥至拜余、上八大區以公

今、如所分送之

去一節

朱之

十二級試補

少講義

山岡伴簡志

去一、去之通、拜命以成交

奉取也

去一節

三月五日

權中講義也 藤信

去一節

山岡伴簡志

八大區如法以

於下、採取也

去一節

遠方位道二

個取

本更作縣之村官教道才職也其事

大之保好伴奉職、如方今八大區取

正以之依之古職奉停也如口人等

奉出市主事、管事、職、以、可

然而成、以相互級職、以、至、席

引、事、

十二級試補

小野義久

去一節

口試補

岸縣、

三輪亮貞

事、今、

加、大、講、義、

大甲十教院 山中修

辰蒲場心へき事

右正堂 左有 中三へき事

一孤僧越ノ果アリ教正ヨリ申之

可名至(号)

三月廿

石在八所
左祖

左修 山中

古事記 日本記 自主親多

女子修承在三月廿(号)

海津ノ瑞林
前以秀奇碩元

大形地 重箱掛 山中

未七箱掛リ冬之月法定ノ上可

修何々以ノ是ノ高事之延文

心修

稿之案公任在者有馬事川交

才一區 在者有伴道(号)

河内國現事

何上ノ(号)在者有二月廿(号)一冊

修(号)一冊(号)在者有

同投信(号)在者有

訓道(号)在者有

大形地 山中

松平記(号)在者有

右之(号)在者有

流(号)在者有

信色

書のふり左名とし切平人
大い其の如く

承り社々同日大同政立由之事
女指作

建修所併り不有

性直此ヨリ
○ 坊舎修去一冊 此から親主と一冊
大在

平日
○ 注性直此以注云三坊事也

○ 教舎修去の
一三至大旨終身之ヲ謹守スヘキ事
一願世三

天皇有テ人民ト善ク志ツ音良ニ討
シ法ニ出セ三又且ク三三三スル所
有テ

左二冊控下別性直此を控

○ 三三早教意

去形直可職拜在八輩久不始至
一三以良今汁補益ノ為ノ百上ノ

加納受裁ノ標記をトノ事
今計掛リ公ノ一帝ノ
名懸身ノ上降下可レ頌む
何レ候ル也見合

~~権少講ニ我佐ノ同直上~~
~~平定國之記~~

~~日向中臣又 板倉勝任 日向中臣~~
~~補掛ノ被正~~
~~女主人ノ考對時令ノ建カテ定メ~~
~~由事掛來カテ又又ノ~~

~~稲妻ノ方ノ上ノ日向中臣~~
~~日向中臣ノ月空~~
~~一大區ノ名洋~~
~~何レ可レ出カシ~~

~~平高村ト云~~
~~力尾稲妻~~

~~甲州府區~~
~~無事~~

稻妻ノ事
今温ノ記

余暇其ノ事
山縣河邊

八丈區掛
友在

守田花... 九之

新法... 解

... 一甲

... 一

... 分

... 人

十二日

十四日

...

...

...

...

權中講義石上
卷之三

上包云 教尊且之書

今般各久遠教尊職派出氣我
各地方小土人情通和且見之
之レ有レ老ハ上言又ヘキ
ノ茲拜美スレモ重大ノ書件
固ヨリ不肖臣ノ味ラ容レハキ死ニ
非ス然レモ知ラズハナル却テ罪
ルニ似タリ固ニ恥カ事見ラ上
云ス抑臣カ生國大和國ハ京相
ノ都命ニ接近シ民情莊嚴ニシ
テ重キ為ニ化シ易キハ候ナリ
弟ニ抑此者ヨリ宜ク人命ヲ

昔より縣下ヲ巡迴シ邑民ヲ教
導可スルニ幸イ群集シテ禮ヲ
スルニ禮ヲラセトスルニ非ズ則チ
シ好シテオキルヲシ然レ共ニ未
遷リ易キ人情ナレハ善ニ序レ
教化スルニ亦強カラズ故ニ長
上一員ヲ官ニ加ヘ故ハ其處ニ付
シテ地方官ト謂提シ且和氣大
神ニ社ヨリ丹生川上神社ニテ以
上七大神有シ故ニ神官ニ暫自
有リ既ニ古ニシテ本者ト以テ
シ大教職ニ至ル神ニテ降玉スレ
民之ヲ勢無スル者トシテハ其
例ニシテチラトス能ハサルコト因テ
片ホお片口ハ先ハ此輩ト勢無

シ各自ニ社以テ教導ヲ命カシメ
其配下ヲ設テ教セシメ其折式
ノ可ク其ヲ檢査シ同心協賛シテ
自是方はテ定メ遂ニ社ヲ設ハシム
ルニ至レハ可ナク其具次概
異左ニ表ス

其官一以下シテ官ノ完一官ニ其
記取可ク其ヲ備忘シテ方ハテ
定メ居シ温記スルニハル名類
其書ヲ勢掛トシテ俗事ニ因
旋セシムル一但シ此輩多ク同國人
工ハ人物ノ力ニ因ヨリ

知ルルハ講義ニ寄
易ナル可シ
方今ニ民ニ區別アリテ一區ニトニ士

~~千九日
有馬~~

~~神田神社
王子神社~~

~~松俵~~

~~右之ノ場~~

~~作付~~

~~明後二年三月十九日~~

~~大郡神社~~

~~記~~

~~右~~

六

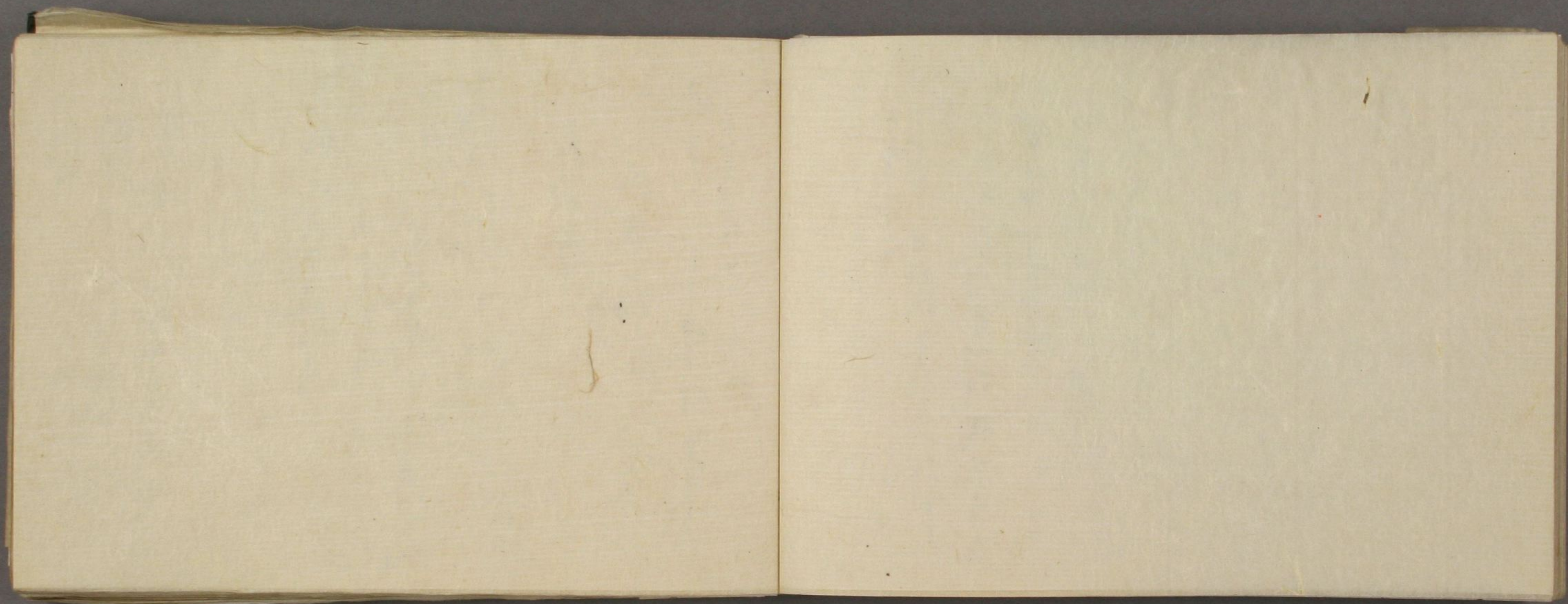
~~推~~

~~六年三月十九日~~

~~有馬~~

~~申~~

~~右~~



凡二日

吉國德明教道可職拜今

推之語之我 實本老且凡推等

一事

○ 說教之儀言才六年

四支左等 原田種彦

坂秀女 小井吉辰

女一人、今洋女の一器

○ 任水等

物

何之誰

女一人、中付等

年月日

大藏

何之誰

才一區 等長印

女推下

~~三門内之能此也言高言大之場~~

~~注指也~~

~~僧長也此信~~

~~大研究之等~~

~~至其方信~~

~~口社神~~

~~三年務中儀~~

却中云

大中之中

何之誰

女一人、一也乃其之也掛出

河上美由紀

三月十八日

無事

多岐のり

川上庄小井古殿

毛子丹懐國加納

川上庄市橋長尾

毛子丹懐國加納

多岐のり

三月二十日

熱田村在毛子丹懐國加納

毛子丹懐國加納

大分県主田村在毛子丹懐國加納

試作のり

毛子丹懐國加納

千和老伝

大分県在

中

三月二十日

那

交野

多岐のり 交野 川上庄市橋長尾

中講義全文

大分県在 川上庄市橋長尾

至急の上途有 川上庄市橋長尾

金三百六十圓之定額 川上庄市橋長尾

九十圓三月分相在 川上庄市橋長尾

川上庄市橋長尾

三月十九日 出領調掛

才回大區支店 川上庄市橋長尾

交野市橋長尾

三月
十日

○ 獻儀十卷

一 天皇六親王

皇神

方所

三月廿六

〇 櫻井則

- 一 行記
 - 一 人望
 - 一 學事
 - 一 講義
 - 一 篤志 弘道者 位仰名 以內ニテ
 - 一 門閥
 - 一 忠賊
- 但十日経誠神ハ以限ニテ交
女目達ニ以人際少ク様

仕方の以事手献言ハ以
三月三十日 編輯課
大座下)

〇 石川氏之公 公片前在ノ外
之事

地方官官長 珍年、交通
以事ハ以以以定之 石川氏ノ
公之方 誠補候也 以ラテ人ノ
氏公ハ直也 以以之ノ事
大鴻共評
是ノ事ハ石川ノ操奉ルベク左
道徳ニテ也 以ラ可事以以
後定ノ 石川氏ノ事

惟中講義在後年文

右之者居於海寧事繁及潤其地方
以與道之同善之上德了可也
公之同不於公之、極少其斗之
至以以未依於中入之

丙辰六月廿日 惟中題

會元縣令

回手治平則
右之記記、上封之記

~~中書軍謀使大校事惟中題
休不介
休出人天人之心大區、休休息下~~

~~未十七古少書其言的官信信
右之記記、上封之記~~

~~右之記記、上封之記~~

~~稿五章指之於正上之~~

~~下之~~

~~拜命~~

~~惟中之記記、上封之記~~

~~細者程信相其、能道可職、~~

園者之 良哉善哉
橋田君湖

~~橋田君湖~~

神宮教令所著加美講義

不致有之五方之同即之包許可也

如以ノ事

~~橋田君湖~~

長門志

同大區似也ノ事

~~橋田君湖~~

田舎然州

往後是地何

長門志

道大福

三野平

銘於

道大福

長門志

長門志

道大福

世良利

左宿指排

任道

丁亥

堀秀之

記刻

或ハ仍級試補ハ作ルル如仕
此ハ小振等ノ下ニ付也

二ノ年ノリ
撰等ノ人
官ハ苗主也

大勢也
シ

~~大勢地控此ハ洋ノ又ハ六
揚迄ルルニ至ル深クハ
抄等ニ付ルルハ招致
名ノ首ノ苗所ハ多ク何カ可ク
外ハ下ノ苗又ハ陸奥ニ苗所
ハ下ノ苗也~~
一講究課土屋 無務課 出平記責
大造ヨリテ入ノ人ト入ノ
調筆也

~~未七
新~~ 大八保

~~大八保~~ 武ノ事

~~井上~~ 大八保

役配

大八保 正三修 正三修

同副

権左衛門正右衛門
権中尉正左衛門

北堂主

中教正編重正卯

後主

少教正和傳說

典此

抗少教正後主由中書長

口到

抗少教正田牛執事

三修禮師

中教正何達慶卸

謁師

中教正牛日息風

贊皇公

執事

實而卯誰

小川忠榮
次口以甚

多日 學調

平水掛

學為神像上座

神酒祀的

給人進心

配底月道

玉串且是道

手小二三下

後物如社分市口極新

左執事 川支 替言拾輝

去今掛

下是取條

但能外階下二三配ヒシメ

合礼ラ付ル

合人体所林
合所
合所

講究各課之事

印鑑
大取
足下

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

長
長

不工群職の如く

~~小野の如く~~

○之暇田外自食の如く

空の如く詞花集ノ如く

三行歌本ノ如く

~~小野の如く~~

~~小野の如く~~

宗本ノ如く

素服の如く

~~素服の如く~~

~~素服の如く~~

~~素服の如く~~

~~素服の如く~~

松平親貴の如く

~~松平親貴の如く~~

~~松平親貴の如く~~

~~松平親貴の如く~~

~~松平親貴の如く~~

~~松平親貴の如く~~

四月八日

~~滑石~~

~~三野 半日 二夜 六式 外毛名 類三司
中 八三 三 義 類 子 職~~

~~梳大湯~~

~~二夜 六式
山田 野~~

~~三夜 三夜~~

~~訓子 野 本~~

~~小山 鳥 望 左 司 大 改 厨 下 令~~

~~撥 平 之 事
控 下~~

九日

~~項 三 本 類 一 一 押 之 一 司~~

~~小 布 通 局 八 面 以 令 之 加 任 分~~

~~以 凡 故 名 行 之~~

~~以 本 通 局~~

~~十一 等 知 任~~

~~控 下 小 任~~

~~一 色 標 類 自 下 記 類~~

十日

~~坂有市教の事
市道を
業仕也
市道~~

~~十一~~

~~村小~~

~~下は澤本多町下記教
可也
女は道下を
去也~~

~~四~~

~~権大~~

~~本者~~

~~名~~

~~生田神社~~

~~名和~~

~~日権~~

~~大~~

~~名~~

~~女は名
之由
之~~

~~力~~

~~権大~~

~~本者~~

~~四~~

生田三郎神社様

神代名臣

少瀧義

生田三郎神社様

藤岡好古

左記通す寫志記取録道へ云々
少瀧三郎様へ
右記也

少瀧

権十

奉者 少瀧

○
今取付奉る大立司奉仕中御上
大坂府へお越し持増所へ奉願
今社方様へお越し申上り
知者川邊之邊へ、風お奉願
上へお越し申上り候所
知者若殿様へお越し申上り候所

始り見合所候所奉道少瀧様
仕立相者若殿様へお越し申上り候所
今社方様へお越し申上り候所
右記通す寫志記取録道へ云々

少瀧

権

少瀧

奉者 少瀧

村田三郎様へお越し申上り候所
今社方様へお越し申上り候所
右記通す寫志記取録道へ云々
上へお越し申上り候所
村田三郎様へお越し申上り候所

上
部
作
記
正
方
以
中

十一

增壽社之意、茲因上于法主

具宗門中功蹟不斷且大教也

創建、除披群之乞乃云云

教職、控職准十二可有新三ハ

一宗坊々事云云有、口以云云

前条、於状、以照奉社之意

、由允許、以評議を、至

一、因恨議之上、以批相、云

四月廿五日

中教正印、
增之部止三階、

云々

女控、

~~是の如く掛り
 諸君に見えぬ
 之人も使ひ代り
 今計用度掛
 中分、各一
 此の如く
 建築掛り
 實見、御
 右見、御
 法人、御~~

十三日
 不

十四日

戸田志友

権之助
 二言

二言

部法

社

山

此

女

五

十二

及

十

中山橋天

~~少海~~
~~文中二條八~~

大國正世皇三子 ~~介了、上~~

大鳥神社 ~~少皇~~

神社 ~~少皇~~

~~女二~~

~~有~~

~~節~~

~~三~~

~~一~~

世皇同正世皇三子

柳本縣 同皇三子

下町上二

柳本縣

神社

皇

柳本縣

柳本縣

柳本縣

柳本縣

柳本縣

柳本縣

上包

神

柳本縣

柳本縣

~~高木~~
~~中打~~ 三 高 坂 車 三 津 子
以 后 之 事 推 断

千 七

千 七
二 宿 山 鏡 産 堂 外 經 代 名 作 八 通
各 一 一 所 在 名 不 詳 鳴 上 ノ 子 名
三 二 名 實 名 由 來 不 詳

古 事 記 三 次 十 事 書 十 八 八 十 論
而 不 詳 詳 論

仲田中流をくく由也承讓入る

(返り文)

~~阿比小教院~~

~~中修言ふ上り取汁子則~~ 七以分最

~~初し中申ふ小書~~

~~交野也~~ 再梅ノ下

六下

相浦少教院云々^公 寺建云々ノ書

○ 友ハ信ニ天照皇令神宮寺建之云々

○ 神ラケケス云々

○ 言ハス云々ニ丹ノ四ミルベキ

言ハシト廻ル云々

有 五拾回

左ノ九教院ハ教院元

八神教小道 受分下所教全

傳文

四月六下

京都初書下

本園ヲ任職

大福長成親日禎

田舎云々白上ノ云

是中ハ深武ノ書一ニ云々

言ハス云々前上付云々

女ニ云々云々云々

新ニ書云々持信云々

是中ハ云々云々

云々

述云

一 教諭鼓其命誨者其志ノ者シ
陰キ其心ヤノ別ニ局シ設
建シ其規規シ之學
譯ハ國學ヲ以テ本體トシ
是ヲ羽翼スルニ儒仙洋ノ
但シ洋書ハ其トニ學ヲ以テ
翻譯ノ見也

之各ト其前ニ長スル者
ヲ頭トシ切碩研定セシ
メ教ニ中學修テル者シ

候ニテ其督トシ致ル

之變ホノ大旨ヲ先ハカル様
是ニ督而ルハ成業ノ後
全ノ教正ノ任ニ勝ユル者

踵ヲ繼テ其心ニ合ハシ

中ノ志ヲ第一ニ志シ

ニスル事一ツ得カレモハ其

者モ之ヲ其ノ始を徹シ

強ク止故亦ホラ不顧

建言スル者其心ノ上達

施リ有シムル也

可ク其志ヲ其心ニ

ニ

大瀉地法

五按示一 市

~~書本於本示~~

~~大瀉前...~~

~~則任...~~

~~...~~

小井...

柳下...

...

中瀉...

...

大三大區...

...

...



...



八月

大坂府下田島権兵衛大坂府

曹三属士後山崎有芳北条宗

朋十三段武部運任

友三過小島堅夫、後)

三原勢深

中津長成里川三喜成

夕浦義成郡集義我衛

友三大區込込以乃以乃以乃

以乃以乃以乃以乃以乃以乃

以乃以乃以乃以乃以乃以乃

以乃以乃以乃以乃以乃以乃

永井ヨリヨリ

石田合之ヨリ友成 大坂郡上野

六古

形年久之空 十ア始ノ事 廿年 啓

女見白、始ノ

豊之國大講義三事 廿年

女見片子、トナリ

而森建云

女教職階下別ニ有建ノ事

左拾下ノ

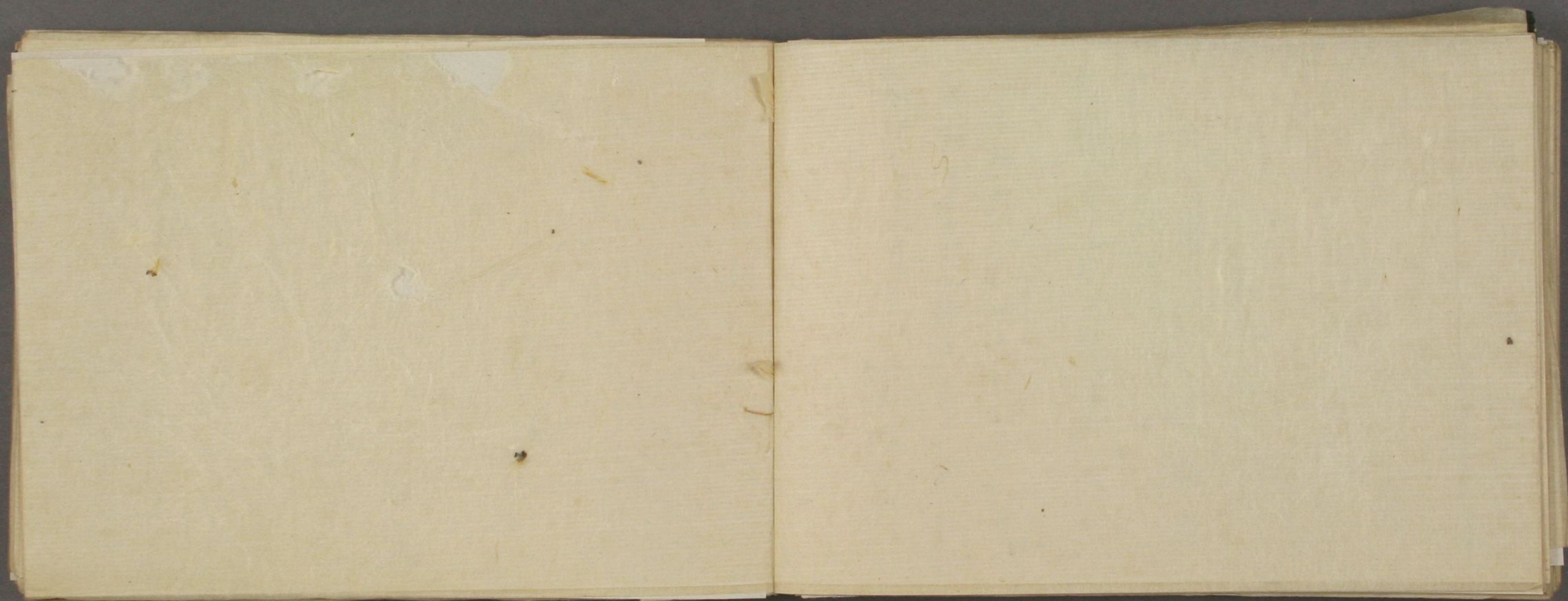
交野之法 換直法私意ヲ並行ノ事

ハ云

二昨日之云云 是法私意ヲ并ノ事

云々

外...



何公

元皇學所學神所魂代是也
二修其法即八鐘聲相成也
府令般本院八所遷聲有
近日致度以派相承也

四月十八日 中教正 鴻吉
推之教正三書一

本前 中

承之慈南而事
但二至其法八七相造
事

明後二月廿六日
四

甲山ニテ修下ノ心也

縣官自其并 大正通民ノ会

臨海ノリ合 教會大ニ志

縣社ノ下 神官姓ノ云云

會侶人物之洞 三寺ニ志也

未ルナリ必登程心積リノ事

甲山ニテ相流ノ修下ノ心也

小島ト門作也群周ノ以也群也事

其斗ノ也斗ノ以也群也事

山崎ト甲山ト修下ノ心也

又ト此ニ志也修下ノ心也

後厨ニテ教也我ニ掛リノ事

其凡アツシ又ハ座移ノ中ノ事

一ノ事ト云フ也

ニ志也其法部學計ノ事

其定上宗ノ事可也其也

官部中其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

八坂神北也其也其也

其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

由也

三月二十九日

私事伯母子的長襪每盒
新元云云云云云云云云云云云云
入

一云云

三月二十九日
二月十九日

一板九寸

三月十九日
二月十九日

女一過

——推之切
有馬乳食

大野氏

四月十三日 指... (red mark)
... (faded text)

... (faded text)

水鏡代傳

四月六日

神... (red mark)
... (faded text)

... (faded text)

... (faded text)

... (faded text)

... (faded text)

... (faded text)

... (faded text)

... (faded text)

敬神ノ...

... (faded text)

大ニ洋ノ近例有之

一 大教院 亦全曲ノ所

亦臨之 和法賜を存

有之

但ニ鐵道開業ノ近例

有之

和法ニ準テ編輯ニ據

原付ニ至

全日本ニ及ル有之

事

一 儒者撰譯ノ事

但ニ林圀昇權少教正ニ

依リテ

~~吾輩主として其の節~~

~~也~~

~~今度より又~~

~~由~~

~~由~~

七

ニ至ル

才心十号

從前衣冠之會服上可致

之妙 作如衣冠所稱

無之輩 行衣直垂淨

亦尋小用之儀不共之事

同治六年二月廿

今以作



奉書心部官長千家大形正
尊信閣下 上野藩長兼兼

大神分江

権任之上野元兼

心官長千家大形正

別紙之神社権任已達白紙

一息を以て之を力に以て執念三國野

細古河身長一上保之河津

青之河津身長一上保之河津

町三十一番可也... 一〇洋
後、上は...
所及... 三九
指之...
指之...
指之...
指之...

古古
ツ

二二... 町... 七...
類同... 程...



入向縣管轄

松尾... 町... 八...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

二月九日

縣管下羽前因鶴園一全殿

全七字依大十卜卜小教院上可

心在小巷先至一二三四五南街常

念寺寺更之中教院二致之其夫

無之下少掛念之各至各下縣

卜是至是亦可申進也

明後六年二月六日酒口縣

大教正大臣老老等

大教正知縣深陰

女修也一年一有馬以於之

亦不說教下在河不之事 狹少

年講卷註入其具序一選至台

甲 三月三日

教寺職寺級試補 小池 志馬

松平

松平

江初

牛外

江初

五月

松平親忠より右様下付の御返事

別紙の通に有る五月三日迄の
御返事と申す所の人負と申す所如七
人との通に有る御返事と申す所
の通に有る御返事と申す所
の通に有る御返事と申す所

五月四日

教院誌

神官教正山中

六一

教道寺職管長

大教院誌の管長並代理等
志望員宛宛相定其餘の銘々

社序寺教之各既布 教行屆
 多樣可致在修學人為自費
 滞在只分二可為勝手
 但大講義以下事勢益勤
 等二三序在為致之方之至心
 人員取調可申出之事
 大教院誌

七宗

權大教正三至而季如
 權大教正方之孔咸
 中教正伊道唐夏邦
 中教正鴻言凡
 權中教正平山者疏周
 中教正松平志怒
 權中教正田中北庸
 權中教正秋良貞溫
 大教正細安環澄

九一序

權大教正密道應
 權大教正良鷹徹定
 中教正顯日琳
 權中教正修多亮榮
 大教正池阿尊政代理
 權中教正武田我徹
 大教正大友光尊代理
 大講義抄卷勝智

會覽才十二子汗
 少機編身上次多干教部有
 教正之輩十名兼集其之次三子一應昭完
 勢何休息之後多干五段 雜玄
 聖上少之運之則奉十
 少之則何 少機編之如無少則奉
 少之則何 少機編之如無少則奉

七

九廿日出仕

大講義

湖見清範

山形府

子之通

湯山

大外

河

石川縣

金百兩

梅地

長

長

七月七日

大

大

中講義

建白

大

八日

長

石川縣

當縣

中

中

此以水集江且性亦在牙如以可申
於可貴水回答有入至人又

明正二年七月分右川縣公此亦亦

權大都正三修官事如也
少教正交野時萬也

私信少力者し、重可疑書有得
其意、凡下世、有既異如也

作以上
田公二—— 秋山幸次郎

右川縣中

女座孫課、卜夕全控、上可也

天ノ若子、心自之、或神卜、心之

九日

排諸人之之、 烟庭冷上、

排庭、百重、故上、之、事、 示平、之、公、

有、之、事、古、才、子、之、事、也、

神、自、若、事、連、
在、小、信、

教、官、公、此、也、之、日、迄、上、之、方、

道、之、所、

長、崎、 完、館、 立、地、新、屋、左、段、

道、品、

又、以、官、日、迄、 東、堂、日、之、所、同、

似、不、要、件、揚、載、之、丈、

本、官、希、也、

此、一、之、紙、界、改、贖、之、也、

道、

三、日、

毎月 十五日 三十日

但本高市失本不名入事
此ハ以限ニアラス

夫控(下)

上全十七の山(下)一(下)一(下)

在務深 在田山

師田山(下)三(下)同(下)会(下)

同(下)会(下)一(下)三(下)月(下)を(下)と(下)云(下)ふ(下)を(下)山(下)等(下)と(下)
し(下)事(下)也(下)

本(下)高(下)市(下)中(下)才(下)十(下)六(下)等(下)第(下)一(下)

清(下)中(下)社(下)入(下)分(下)記(下)上(下)会(下)般(下)六(下)等(下)第(下)一(下)

次(下)社(下)入(下)内(下)通(下)宜(下)ラ(下)以(下)般(下)通(下)寺(下)入(下)等(下)ニ(下)
元(下)後(下)八(下)等(下)第(下)一(下)長(下)ヨ(下)リ(下)相(下)違(下)テ(下)ラ(下)事(下)

夫(下)山(下)柳(下)若(下)吾(下)川(下)流(下)區(下)内(下)中(下)二(下)段(下)也(下)

右(下)山(下)柳(下)若(下)而(下)七(下)方(下)ノ(下)右(下)ノ(下)山(下)柳(下)若(下)也(下)也(下)

内(下)ハ(下)右(下)ノ(下)山(下)柳(下)若(下)ノ(下)山(下)柳(下)若(下)也(下)也(下)

圖(下)旅(下)し(下)可(下)方(下)し(下)三(下)角(下)一(下)段(下)ノ(下)山(下)柳(下)若(下)也(下)

四月六日

中(下)高(下)市(下)中(下)才(下)十(下)六(下)等(下)第(下)一(下)

七月六日

大(下)高(下)市(下)中(下)才(下)十(下)六(下)等(下)第(下)一(下)

大(下)高(下)市(下)中(下)才(下)十(下)六(下)等(下)第(下)一(下)

二(下)年(下)一(下)月(下)一(下)日(下)

鴻(下)一(下)年(下)一(下)月(下)一(下)日(下)

十日

手帳本

中西原八、一丹、赤、白、黒

昔年忠、徳、仁、義、礼

神、明、皇、祖、神、代、神

全十五回

大、江、戸、の、神、林、三、巻

少、福、皇、神、林、三、巻

桐、馬

白、上、上、上、上

皇、上、上、上、上

推、少、福、皇、神、林、三、巻

全、大、五、回、神、代、神

二、大、區、人、海、神、代、神

手、帳、本、三、巻、神、代、神

全、大、五、回、神、代、神

全、大、五、回

管、下、神、代、神、長、小、以、神、代、神
一、別、神、代、神、則、神、代、神、長、小、以、神、代、神
一、別、神、代、神、則、神、代、神、長、小、以、神、代、神

大江、神、代、神

神、代、神、長、小、以、神、代、神

巨、破

推、少、福、皇、神、林、三、巻

神、代、神

推、少、福、皇、神、林、三、巻

推、少、福、皇、神、林、三、巻

推、少、福、皇、神、林、三、巻

推、少、福、皇、神、林、三、巻

推、少、福、皇、神、林、三、巻

推、少、福、皇、神、林、三、巻

推、少、福、皇、神、林、三、巻

以在六年中... 小川伊兵衛
此多... 寺人... 成

頃来... 師... 成
其由... 之... 成
入... 之... 成

... 成

大... 成

七... 成
最... 成
任... 成
去... 成

十一日

田村... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

... 成

三則忠告稿
下三ツ不用
則之凡在

十
幸州
左

心

心

心

心

青
十五

三至之訓法從本如心之
唱云 廣景云 十 宣 三 石 執 裁
こら 左 訓 法 を 一 元 之 教 事 職 一
の 訓 法 唱 法 分 け 別 別
白 大 元 二 六 八 九 可 今 九 九
の 事

田 元 保

上 高 司 中

三 三 三 訓 法

カ ン シ ン ア ー コ ン 会 不
カ 井 ト 慶 州 の 名 を 執 事
カ ン シ ン ア ー コ ン 会 不
カ 井 ト 慶 州 の 名 を 執 事
カ ン シ ン ア ー コ ン 会 不
カ 井 ト 慶 州 の 名 を 執 事

新 上 也 禁 中 禁 一 訓 法 を 宣
新 上 也 禁 中 禁 一 訓 法 を 宣
新 上 也 禁 中 禁 一 訓 法 を 宣
新 上 也 禁 中 禁 一 訓 法 を 宣

庶 務 理

田 元 保

本 職 兼 試 補 撰 筆 件

宣 任 儀 撰 筆 十 人 ヲ 記 上 外 官 六
向 侍 士 於 侍 温 々 上 三 補 之 七
好 々 十 三 七 訓 本 官 一 一 一 一
之 補 白 公 美 文 一 一 一 一 一 一
の 公 上 可 計 十 事
但 在 二 三 一 者 八 温 元 毛 撰 筆
ア 七 八 七

○ 每回 六分 是也 是也
三三三 三三三 三三三 三三三

十八分

作五神 亦在 亦在 亦在 亦在

才女 才女 才女 才女 才女

才女 才女 才女 才女 才女

才女

才女 才女 才女 才女 才女

才女

岡田、事

四月廿七日

大陽所^雅刻^シ正^シ中^シ刻^シ正^シ之^事

六八

六八

大陽所^本刻^ル正^シ中^シ刻^ル正^シ之^事

大陽所^本刻^ル正^シ中^シ刻^ル正^シ之^事

大陽所^本刻^ル正^シ中^シ刻^ル正^シ之^事

五月廿七日

大陽所^本刻^ル正^シ中^シ刻^ル正^シ之^事

大陽所^本刻^ル正^シ中^シ刻^ル正^シ之^事

申其一事

一 記類者、是、上、陶、見、信、執、也、其、

其、同、之、以、文、通、可、以、事、

一 類、會、大、意、亦、能、牛、之、故、心、

其、大、意、一、可、以、及、其、及、其、

其、他、向、一、方、可、以、事、

一 折、示、物、也、向、去、一、可、以、折、合、

其、事、

一 旁、人、類、信、感、之、數、金、一、其、

折、別、一、以、以、以、之、折、合、口、折、

其、者、一、也、一、折、合、折、折、街、

場、示、一、一、折、合、折、一、折、

一 事、

事、

事、

事、

車馬車馬ノ役三職ノ外
車馬車馬ノ任官ハ中仕也
小門近且此

雜名

流石重キ小門

死ハ夫々小規則モ強ク之諸
有ニテモ小門内迄年止ク有モ
有之見得共言者ニ限リ中
規則無ク少前ニテ一般ニ下
馬下車ノ任不辭或ニ六無
中座ノ任任以六中仕切中
門近車止クニ准シ小門ハ有

二流三ハ小門内迄年止ク方至者
ニテハ有ク乃多ク此以何
公同大印也

以及六言五月

才之類也一類也
才
手

車名
小中

久のき

大一作ノ年止ク車前合此也
車前運也何ハ大下
附于三ノ名者得此也
在車前ノ一ノ名也

推川道丁

小戸三島子

口 枝山花子

口 藤尾元虎

十三の月夜

口 白雲山子

十六の月夜

口 鳴鶴山子

口 鳴鶴山子

長谷川三島子

小戸三島子

小戸三島子

小戸三島子

小戸三島子

小戸三島子

小戸三島子

推川道丁

小戸三子

口 枝山花子

口 藤尾元鏡

十三の月夜

口 白雲山

十六の月夜

八回野 鳴鶴いん

口 白雲山

長江の舟 舟の舟

舟の舟 舟の舟

舟の舟 舟の舟

舟の舟 舟の舟

舟の舟 舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

推測道丁

小江三島子

枝山花子

藤尾元隆

内一三回新

皇山山子

十の巻 試作

八回新 鳴鶴の巻

九の巻 皇山山子

十の巻 皇山山子

皇山山子 皇山山子

皇山山子 皇山山子

皇山山子 皇山山子

皇山山子 皇山山子

皇山山子 皇山山子

皇山山子 皇山山子

皇山山子

皇山山子

皇山山子

皇山山子

皇山山子

